

①尿定性・沈渣

項目名	基準範囲		単位	臨床的意義
	男性	女性		
尿一般定性				尿に試験紙を浸して色調変化を見る検査です。腎・尿路疾患や様々な疾患のスクリーニング検査として広く用いられます。
色調	設定なし			
混濁	(-)			
比重	1.005-1.030			
pH	5.0-7.5			
糖	(-)			
蛋白	(-) - (±)			
潜血	(-)			
ケトン体	(-)			
ビリルビン	(-)			
ウロビリノーゲン	normal		mg/dL	
亜硝酸塩	(-)			
白血球	(-)			
尿沈渣				尿中の有形成分を顕微鏡を用いて確認する検査です。尿沈渣成分の種類とその量を鏡検することは、腎・尿路系疾患の鑑別とその程度を知るうえで重要です。
赤血球	0-4		/HPF	
白血球	0-4		/HPF	
扁平上皮	設定なし		/HPF	
尿路上皮	1未満		/HPF	
尿細管上皮	1未満		/HPF	
硝子円柱	設定なし		/LPF	
細菌	(-)		/HPF	
酵母	(-)		/HPF	
精子	設定なし			
結晶	設定なし			

②便・精液等

項目名	基準範囲		単位	臨床的意義
	男性	女性		
便潜血反応	(-)			便に血液が混入しているかを調べます。消化管出血の有無の把握や大腸癌検診のスクリーニング検査として有用です。
寄生虫卵	(-)			便中に寄生虫卵がないか顕微鏡を用いて確認します。
便中カルプロテクチン	50 以下		μg/g	腸管内の炎症の有無を調べます。
精液一般検査				不妊症の診断や治療の経過観察の目的で行われます。
液量	1.5以上	mL		
精子濃度	15×10 ⁶ 以上	/mL		
運動率	40以上	%		
正常形態率	4以上	%		
尿hCG定性	(-)			妊娠ないし異常妊娠や絨毛性疾患の診断、治療効果・寛解の判定などに用いられます。